

# 日赤なごや

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院  
救命救急センター・総合周産期母子医療センター  
地域中核災害医療センター  
造血幹細胞移植推進拠点病院



Vol.61  
Summer 2018



## Medical Frontier

産婦人科  
総合周産期母子医療センター長  
第一産婦人科部長  
水野 公雄 医師

### お知らせ

● バースセンター  
開設5周年を迎えました

### ふれあい通信

- 大空から「しあわせ」を願って。  
ANAグループすずらん贈呈
- 名古屋第一赤十字病院奉仕団  
感謝状贈呈式を開催しました
- おクスリ豆知識  
紫外線とお薬の関係

## Professional Style

中島 万志帆さん



# Professional Style

プロフェッショナル  
スタイル

Vol.61

表紙のひと  
麻酔科医師  
なかしま ましほ  
中島 万志帆さん



## 手術室の「命の番人」として、 3人の子の母として

**手術室で麻酔をするだけでなく、術前から術後まで患者さんに寄り添います。**

麻酔科医というと、手術の際に麻酔薬を使って患者さんを眠らせる姿をイメージされる方が多いと思いますが、実際の仕事は術前診察、術中管理、術後ケアと多岐にわたります。

手術前日には、患者さんのもとに伺い、持病や体質、病状、手術内容を把握し、各手術に適した麻酔法を決定します。その際、患者さんには麻酔について詳しく説明するだけでなく、手術に対する不安をできるだけ伺い、安心して手術に臨めるように心を配っています。

実際の手術は、数十分で終わるものから、半日以上かかるものまで様々です。その間、絶えず患者さんのそばで、体の変化を見守り、呼吸、心拍数、血圧、心電図、体温、酸素濃度など、生理状態を把握することで、手術室の

「命の番人」としての役割を担っています。手術中、痛みがあれば心拍数や血圧の上昇が起こるなど、絶えず変わり続ける患者さんの状況を把握し、安全に手術が終えられるよう、注意を払っています。

また、当院は、救命救急センターや総合周産期母子医療センターがあり、いつでも緊急手術ができる体制をとっています。数百グラムで生まれてきた赤ちゃんから、ご高齢の患者さんまで、様々な患者さんが絶えず手術室に運ばれてくるため、私たち麻酔科医も緊張感をもって仕事に臨んでいます。

手術後は、患者さんの呼吸の安定や意識レベルの回復を確認し、術後の痛みが少しでも軽減できるよう薬剤の管理を行っています。「術後の痛みが心配だったけど、全く痛くなかったよ」と、元気に微笑む患者さんの姿を見る時が、私にとって大きな喜びです。

**安定した職場環境が、安心・安全な医療の提供につながります。**

病院を一步出ると、母親です。研修医時代から約10年間当院で勤務していますが、医師としての仕事を継続しながら充実した家庭生活を送ることができているのは、上司や同僚のおかげです。

現在麻酔科には、19名の麻酔科医が在籍していますが、そのうち7名はママさん医師です。皆子どもが小さいうちは育児時短制度を利用するなどして、仕事と子育ての両立を図っています。周囲に自分と同じようなママさん医師がいて、ともに支え合いながら仕事ができる点も、麻酔科の大きな魅力の一つです。

これからも、家庭を大事にしながら、いち麻酔科医として、患者さんに安心して安全な手術を受けていただけるように、努力していきます。

## おクスリ 豆知識

第46回

## 紫外線とお薬の関係

6月の雨季も過ぎ、日差しが強くなるこの季節になると皆さん心配になるのが紫外線です。日焼けやシミの原因になるので多くの人は、それぞれの対策をしているのではないのでしょうか。

この紫外線、実はお薬にも大きく影響することがあります。肩こりや痛みを使う消炎鎮痛剤の湿布剤やテープ剤はその代表的なものです。貼った部位を長時間日光にさらすと、かゆみやヒリヒリ感、かぶれが生じることがあります。この症状を光線過敏症と呼びます。意外なことに湿布剤以外に飲み薬

でもこのような症状が現れることがあります。例えば、抗生剤のシプロフロキサシンやスフロキサシン、利尿剤のプロセミドやヒドロクロチアミドが代表的で、これ以外のお薬でも光線過敏症を引き起こすことがあります。

この光線過敏症の症状は、お薬をやめて2~3週間ほどで軽減することが多いのですが、かなり時間がかかる方もいます。これはお薬をやめてしばらくたった後でもその成分が体に残っていることがあるからです。そのため、その薬を使っていなくても日差しの照りつける場所で長時間作業するなどで、かゆみや

ヒリヒリ感が出現することがあります。

この光線過敏症を防ぐには紫外線対策が大切です。具体的には、サンスクリーン剤の使用や長袖などの皮膚が隠れる服装の着用、日傘の使用で直接太陽に当たらないようにするなどの対策が良いと考えられます。サンスクリーン剤はSPF50以上、PA+++以上のものを使用することを推奨します。このようなお薬の副作用は患者さんの対策で防ぐことが出来ます。もしこのような症状で気になる事があれば医師・薬剤師にご相談ください。



## 患者さんの“想い”に応える医療を、 チーム体制で届けます。

**婦人科がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんに大別されます。**

産婦人科は、新しい生命の誕生を支援するだけでなく、あらゆる世代の女性の病気を診療しています。近年は、“がん”が増加傾向にあり、特に若年層の子宮頸がんが増えています。

子宮頸がんは、膣へとつながる子宮の入口(頸部)にできる腫瘍です。子宮体がんは、赤ちゃんが宿る子宮体部の内膜にできる腫瘍。子宮頸がんは閉経前の女性に、子宮体がんは閉経後の女性に多くみられます。

子宮頸がんの発生は、ヒトパピローマウイルス(HPV)が関係することがわかっています。HPVの多くは性交渉で感染し自然消滅していきますが、感染が続くと細胞の遺伝子に異常が起こり、やがて“がん”に変わります。

子宮頸部の細胞異常は婦人科検診(細胞診)で発見できますが、当院の人間ドックは感染したHPVのタイプ識別も行えるため、がん化しやすいHPVを異常が起こる前に見つけ、管理することができます。

**手術では、できる限り子宮を温存し、  
妊娠・出産の“希望”を残します。**

早期子宮頸がんの治療は、手術を中心にを行います。悪いところだけを切除して、大切な機能を生かす方針。がんの深さや広がりを見極めて、最適な治療法を選びます。この春より、患者さんに負担の少ない腹腔鏡手術が保険

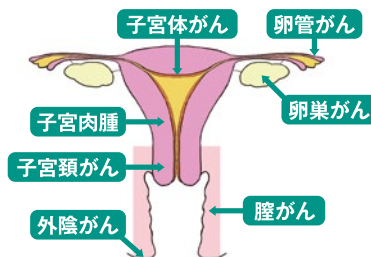
適用となったため、今後は当院でも積極的に導入していく予定です。ご高齢者や手術に適さない進行がんについては、放射線治療を行います。

子宮体がんは、比較的初期に発見できるため、予後のよい腫瘍であることが知られています。当院でも可能な限り患者さんに優しい腹腔鏡手術を採用し、良好な結果を得ています。

卵巣がんは、症状のないまま進行していく、治療の難しい腫瘍です。幸いにも抗がん剤がよい結果をもたらすことが多いため、手術と化学療法を効果的に組み合わせ治療します。例えば、抗がん剤で予め腫瘍を小さく抑えた後で、手術するのもその一つ。抗がん剤の中には、ピンポイントでがんだけを攻撃する薬もあります。

抗がん剤の使用については副作用を心配される方が多いのですが、最近では吐き気を抑える薬や副作用の少ない薬が開発されるなど、日々進化しています。大切なのは、痛みや不安を遠慮なく、医療者に伝えること。患者さんが安心して治療を続けられるように、私たちも配慮しています。

婦人科がんの種類と発生部位



**患者さんにとっての“最善”を  
一緒に考え、実現します。**

当院には、婦人科がんの専門医3名の他、様々な経歴をもつ医師が在籍しています。そのため、婦人科がんの患者さんはほぼすべての治療法\*を選択できる体制が整っています。

がんは、診断されたその日から、治療、療養、日常生活、今後の人生まで含め、長くつきあう病気です。場合によっては、再発やもしもの覚悟を迫られることもあります。だからこそ、私たちは患者さんの意思を大切に、治療を通して、よりよい人生を送れるようなお手伝いをしたいと考えます。

医師にとって最善の治療法が、患者さんに最善とは限りません。

「入院したくない」「手術を避けたい」「できれば薬で直したい」

提示された条件の中で何ができるかを考えて、常に最良の治療法を提案できるように全力で取り組みます。

\*特殊な事例を除く



産婦人科  
総合周産期母子医療センター長  
第一産婦人科部長  
日本産科婦人科学会産婦人科専門医  
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
みずの きみお  
水野 公雄 医師

Information  
お知らせ

## バースセンター 開設5周年を迎えました。

平成25年4月にバースセンターを開設し、今年の4月でまる5年を迎えました。開設からの5年間にバースセンターで出産された方は940人を超えました。

去る6月9日(土)、これまでにバースセンターを利用していただいたご家族をお招きし、バースセンター棟にて5周年記念会を開催いたしました。当日は260名を超えるご家族に参加いただき、講演会やジャグリングなどのパフォーマンス、各ブースでは赤ちゃんや子ども向けの参加型イベントを行い、皆さんに楽しんでいただくことができました。

バースセンターでは「安心・安全・自然・快適」をコンセプトに、女性の「産む力」、赤ちゃんの「生まれる力」を最大限に発揮できるよう、助産師が中心となって妊娠中から産後1ヶ月健診までサポートしています。アットホームな雰囲気の中で医療に頼りすぎず、お産や育児に自信を持って主体的に取り組めるよう支援しています。そしてたくさんの利用者から満足の声や感謝の声をいただいています。

今後も利用者の方に満足していただけるバースセンターを目指して努力していきます。



### なごやかコンサート

名古屋を中心にご活躍されているフルート・オカリナ奏者 加藤由記さんをお迎えし、今年も「なごやかコンサート」を開催いたします。ぜひ会場に足をお運びください。

**日時** 平成30年8月13日(月)  
**会場** 西棟1階ホスピタルモール

### 病院祭、ピンクリボンフェスティバル 開催のご案内

今年も病院祭、ピンクリボンフェスティバルを開催します！  
日程は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

**病院祭** 平成30年10月13日(土)  
**ピンクリボンフェスティバル** 平成30年10月27日(土)

### がんサロン「コスモス」 開催のご案内

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は下記のとおりです。ぜひご参加ください。

**開催日** 平成30年  
7月24日(火)  
8月28日(火)  
9月25日(火)



**時間** 15:00~16:30  
**会場** 東棟2階 会議室1

### 健康教室を開講します

参加  
無料

**テーマ** 「緩和ケア」  
～心と身体の苦痛を和らげる医療～

**座長** 緩和ケア科部長 湯浅 典博

**演題1** 「緩和ケアとは」  
緩和ケア科医師 河合 奈津子

**演題2** 「緩和ケアチーム」  
緩和ケア認定看護師 看護師長 平野 美枝子

**演題3** 「緩和ケアセンター」  
緩和ケアセンター 看護師長 武藤 直美

**開催日** 平成30年7月5日(木)  
**時間** 14:00~16:00  
**会場** 東棟2階 内ヶ島講堂





## 大空から「しあわせ」を願って。 ANAグループすずらん贈呈

5/31

平成30年5月31日(木)、「すずらん贈呈」のためにANA(全日空)グループの客室乗務員をはじめ6名が来院され、北海道千歳市近郊に咲いたすずらの花と、グループ社員の方々の手書きメッセージの入ったすずらの香り漂う「しおり」を届けてくださいました。「しあわせ」「幸福の再来」の花言葉をもつすずらの贈呈は、昭和31年から始まり今年で63回目になります。

贈呈式後、客室乗務員と地上係員の方々は、西棟10階A、B病棟にて患者さん一人一人に直接励ましの言葉とともにすずらのしおりを手渡されました。受け取られた患者さんは笑顔を浮かべられ、たいへん嬉しそうなお様子でした。



## 名古屋第一赤十字病院奉仕団 感謝状贈呈式を開催しました

6/5

平成30年6月5日(火)内ヶ島講堂にて、当院奉仕団員の方々へ日頃の活動に敬意を表し感謝状贈呈式を行いました。

赤十字マークのついたエプロンをした名古屋第一赤十字病院奉仕団の方々を、皆さんはご存じでしょうか?入院患者さんや外来患者さんのご案内、自動精算機や再来受付機でのお手伝い、超音波室でのおしぼりの整頓作業など、患者さんと直に接するところから患者さんからは直接見えないところまで、日々病院運営を支えていただいています。

車いすのメンテナンス作業をしていただいている方は、「途中で活動をやめようかと思ったが、患者さんが気持ちよく車いすを使えることが必要だという志をもって10年間活動してきました。」と、ご自身の活動を振り返っていらっしゃいました。

改めて奉仕団の方々に対して、この誌面をお借りし日頃の活動に対し厚くお礼申し上げます。



化学療法センターにて患者さんへお渡ししている手作りイヤホン用ポーチ。これまで製作した数は、なんと1,000個を超えるそうです。

# 外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。 2018年7月1日現在


診療科目		月	火	水	木	金
内科	血液	小澤	宮村	宮村	小澤	森下
		後藤(限)	佐藤	川島	後藤(実)	尾崎
		PM 後藤(実)	PM 森下	新家	PM 岡部	PM 李
		PM 李	新家	PM 佐藤・川口	PM 尾崎	PM 後藤(限)
	内分泌	清田	栗本/PM尾崎	尾崎	尾崎	清田
		上田	土田	—	上田	土田
	腎臓	遠藤	石川	中瀬/PM田中	鷺野	石川
	神経	馬淵	平野	後藤	真野	後藤
		渡邊	小森	馬淵	渡邊	本田
		小森/PM森	高阪	本田	平野	森
新患		清水(洋)	近藤	山田	岡部	平松
循環器	再診	神谷	嶋野	神谷	柴田(義)	柴田(義)
		柴田(義)	宮田	清水(美)	安田	森下
	※第1・3・5金曜日(午後)専門外来、第2・4金曜日(午後)板東					
呼吸器	新患	青山	高納/横山(限)	谷本/西山	横山(限)	佐野/町井
		横山(限)	谷本/PM西山	青山	篠塚	野村
	再診	PM 篠塚	佐野/町井	PM 稲垣	高納	酒井/横山(限)
		土居崎	山口	鷺見	山口	春田
消化器	吉岡	大橋/PM南	春田/PM青井	大橋	土居崎	
	鷺見/PM高野	八田	藤吉	藤吉/PM河村	青井	
	河村	—	南	PM 高野	PM 吉岡・八田	
総合診療	—	松久	—	PM 榛葉	—	
小児科	午前	福見	濱	安田	鬼頭	大島
		藤城	西門	坂口	福見	西門
		佐治木	大萱	三井	山森	竹内
		—	尾関	奥山	朱	山下
	アレルギー	—	—	—	國崎	—
	循環器	三井	—	—	福見	—
	血液	—	濱	PM 土居崎	吉田	(交代)
	神経	—	—	竹内	大萱	夏目
	腎臓	—	渥美	—	—	—
	新生児発達	鬼頭	中山	新井	安田	大城
濱崎		間宮	—	—	—	
予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—	
乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)	
小児内分泌	—	—	—	—	西門	
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。						
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	湯浅	永井	宮田/永井
		三宅	吉岡	奥野	神原/PM竹内	三宅
		鶴田	長尾	深田	—	水野
	乳腺内分泌外科	—	浅井/PM後藤	後藤	後藤・浅井	山岩瀬/PM(交代)
	心臓外科	澤木	伊藤(新患)・折居	前川	柳澤	伊藤(新患)・所
		伊藤(新患)・尾関	—	—	—	—
	血管外科	—	山本	錦見(新患)	徳永	—
	呼吸器外科	森/福本	森/PM森	森	—	森
	小児外科	村瀬	村瀬	—	—	—
	禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時)石川				
形成外科	林/菱田	—	林	—	菱田	
整形外科	新患	長谷	杉本/杉浦	井戸	田中	風間
		井上	堀井	井上	堀井	石川
	再診	洪	山本	八木	洪	八木
		(交代)	石川	杉本/杉浦	山本	長谷
—	大塚・田中	—	大塚・風間	井戸	—	

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	服部	和田	稲尾	(交代)	岡本	
	羽生	—	波多野		藤谷	
	奥村	—	伊藤		—	
皮膚科	佐藤	澤田	澤田	澤田	澤田	
	井上	井上	佐藤	佐藤	佐藤	
	今井	今井	今井	井上	井上	
泌尿器科	服部	平林	(交代)	PM 松井	服部	
	鈴木(省)	服部	川西	加藤(隆)	平林・松井	
女性泌尿器外来	加藤(久)	加藤(久)	—	加藤(久)(新患)	—	
		鈴木(省)	PM 加藤(久)		—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤	廣村	栗林	齋藤	水野
	再診	大西/PM朝比奈	水野/PM上田	坂堂	廣村/PM西子	上田/PM大西
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤	安藤	—	安藤	齋藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	栗林	木村	夫馬	津田/奥原	手塚
		津田	—	—	—	PM 奥原
	パースセンター	PM 奥原	PM 正橋	—	—	—
		—	夫馬	—	木村	—
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師
	眼科	佐藤	—	佐藤	(交代)	小林
(交代)		—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(洋)	柘植	鈴木(克)	石田
	再診	柘植	寺田	寺田	柘植	鈴木(洋)
リハビリテーション	堀井	洪	石川	井上	山本	
	山田	山田	山田	山田	山田	
放射線科	高瀬	高瀬	高瀬	高瀬	高瀬	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	長縄	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		長縄	長縄	—	佐藤	—
緩和ケア科	緩和ケア外来	火曜日 PM 河合		水曜日 PM 湯浅		

## 外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時 (緊急および予約されている方はこの限りではありません)
- ◆休診日 …………… 土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
- ◆専門外来 …………… 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

☎お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

 当院は、病院敷地内全面禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …………… 月～金曜日(休診日を除く)午前8時50分～午後5時20分 電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地  
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733  
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

## 理念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

## 基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。

## 臨床研修の理念

医療に必要な不可欠な知識や技術の習得により、いかなる状況下でも人間の命と健康、尊厳を守る能力を身につけることを目的とする。名古屋西部という都市部における社会構造・高齢化など地域にとって必要な医療を理解し、在宅医療などの社会医療サービスとの連携をはかり、地域医療貢献の修得を目的とする。